



中津江

Nakatsue



ふるさとを自慢しよう

津江小学校6年生の児童が総合学習で新聞づくりを学び、地域を紹介する「うみやまかわ新聞」制作を行い、2月19日に東京スカイツリータウンで発表会が行われた。代表児童4人が参加し、日田市出身の離島経済新聞社の鯨本統括編集長から修了証を受け取った。児童は、新聞づくりを通して上・中津江地域の特徴や歴史、自然の素晴らしさを学んだ。



楽しく走って、目指せ完走！！

2月19日、中津江公民館前をスタートし、上津江町川原の広川運動広場前を折り返し中津江公民館前をゴールとする4.2kmの「第38回新春歩こう・走ろう会」が開催された。

この日は晴天に恵まれ、6歳から80歳までの地元住民30人が参加。競技の後は、地元有志で作る恒例のぜんざいが振る舞われ、冷えた体を温めた。

前津江

Maetsue



柚木地区を楽しむ子どもたち

3月12日、「前津江町柚木地区を楽しもう」と、小学生や幼児の親子が柚木地区の散策や釣り、たこ揚げなどを楽しむ行事が開催された。

これは、まえつえ盛り上げ隊が地区の皆さんの全面協力を得て、周辺地域活性化対策として実施。閉校後に徐々に響く子供たちの声に、地区は春の陽気のように明るく笑顔に満ちた一日となった。



曾家地区でイタリア料理教室を開催

3月8日、曾家多目的交流館で「イタリア料理教室」が開催された。市内外からの参加者は、田辺亜吏可さん（大山町上野）の指導の下、トマトリゾット、ソテー、レモンの詰め物等の料理を体験した。

この日は、イタリアでは「女性の日」で、田辺さんのご主人から贈られたミモザの花とケーキも添えられ、美味しさも倍増した。



大山

Oyama



よっしゃ！火祭り（梅まつり前夜祭）

2月18日、第37回日田おおやま梅まつりの前夜祭「よっしゃ！火祭り」が豊後・大山ひびきの郷で開催された。日田三隈高等学校のギター・マンドリン部、藤蔭高等学校吹奏楽部、前津江浦和太鼓の演奏があり、竹や木で組まれた高さ約10メートルの櫓に火が放たれると、来場したおよそ700人の興奮は最高潮に達した。会場周辺には紙や竹で製作された約2,000個の灯明が飾られ、約200発の花火も打ち上げられた。

2月19日から3月19日まで行われた梅まつりでは、辺り一面が白や淡いピンク色の梅の花で覆われ、ほのかに甘い香りに包まれていた。訪れた人は見頃を迎えた花を見ながら思い思いにゆったりとしたひとときを過ごしていた。



有償ボランティア「カッスル隊」始動

昨年10月、大山町に発足した有償ボランティア「カッスル隊」が本格的に始動。「カッスル隊」は、大山町内の高齢者や障がいのある人などが、地域で安心して暮らしていくことを願い、日常生活の困りごとや心配ごとを解決するために、隊員が有償でお手伝いする（カッスル）もの。この日利用会員のお宅に出向いた隊員は、窓ガラスの清掃を行っていた。

大きく  
な一れ！  
桜の木

2月25日、田来原美しい森づくり公園で、筑後川上流域と下流域の市民約120人が集い植樹祭を開催した。河津桜やエドヒガン桜など5種類200本の桜を植樹し、作業後は地元婦人会の郷土料理が振る舞われた。

参加者からは「郷土料理が美味しかった」「花が咲く頃また来ます」など、うれしい声が多く聞かれた。

